

平成二十七年事業計画案

1、教化研究会議

●第四十八回中央教化研究会議

- ・期日 九月九日(水)・十日(木) 予定
- ・会場 宗務院

・教区教研運営委員や関心のある本宗教師の出席。
・運営会議を開き、内容を協議し、企画・運営などの要綱を決定する。会議資料を作成する。

●地域教化研究会議の開催運営

- ・全十一教区での開催運営。
- ・中央教研との関連を踏まえ、各教区・管区で教化の現場に関連するテーマを企画し、教化研究の充実を図る。
- ・教研運営委員と協議し、地域の独自性を加味し、企画・準備・運営に取り組む。

2、研究部門

●日蓮教学の現代化。中央教研や教化学研究発表大会の成果を踏まえ、研究員を中心に教学の現代化につ

いて研究を行う。

●教化学の研究。教化のあり方、現代教化の方策を研究し、必要に応じて、管区単位での教化学研究集会を開催する。

●教団論の研究。現代の諸問題に対応した教団のあり方について研究をすすめる。

●新宗教研究。法華系新興教団を中心に、研究を行う。

●立正平和の研究。宗門運動「立正安国・お題目結縁運動」における世界立正平和活動の問題を中心に研究する。

●教団史研究。近代日蓮教団史について、他教団との関わりを鑑みながら研究する。年次年表の作成。

●必要な研究調査のため、研究員・顧問・嘱託で分担してプロジェクトチームを構成する。

●研究例会。研究員各自のテーマをそれぞれの立脚点として、研究を継続し、成果を発表する。

●現宗研ウェブサイト上の「日蓮宗教化センター」を

運用する。また、諸資料のデータベース化、各種事業の公開など新たな布教伝道方法を研究する。

- 「仏教各宗教化関係研究機関連絡協議会」「教団付置研究所懇話会」「日本近代仏教史研究会」等への参加。

●その他

3、調査部門

- 法華系新興教団を中心として、他教団の活動を調査する。

- 過疎地域寺院活性化検討委員会・伝道部と連携を計りつつ、過疎地域寺院の実態調査を継続し、対策を検討する。

- 必要に応じてアンケート調査・現地調査を実施する。

●その他

4、資料部門

- 日蓮宗アーカイブズ構想の推進。宗門の公式資料の収集整理保管。

- 各教化センターとの教化研究、布教資料などの交流を図り、収集に努める。

- 図書を購入し、コンピュータで蔵書を管理し、ウェブ上で検索できるシステムの構築につとめる。

- 視聴覚資料の購入・保管。

- 創価学会・顕正会など法華系新興教団に関する資料を収集し、保管する。

- その他各種教化資料を収集し、保管する。

- 「現代宗教研究」第五十号の発行。

- 「平成二十六年日蓮宗年表」の発行。

- 教化シリーズの発行。

●その他

5、会議

- 教化センター連絡会議を開催し、教化センター間の交流、情報交換などを行う。

- 教区教化研究会連絡会議を開催し、各教区の教研運営委員とともに各教区教研間の協力と調整を図り、一層の充実を目指す。

- 研究員会議・顧問会議・嘱託会議の開催。

- 第十六回教化学研究発表大会の開催。

- 教団付置研究所懇話会第十四回年次大会を当番教団

として、日蓮宗務院に於いて開催予定。

●法華経・日蓮聖人・日蓮教団論研究セミナーについては、教団付置研究所懇話会年次大会の当番のため、休止予定。

●その他